

第2回定時総会のご挨拶

本日は、昨年的一般社団法人移行により、一般社団法人日本金型工業会として第2回総会となります。従来の社団法人の継続だと第20回、創立以来だと第57回となります。

正会員ならびに賛助会員の皆様には御多用中にもかかわらず多数の御出席を賜り御礼申し上げます。平素より当工業会の運営と活動に多大な御協力をいただき併せて御礼を申し述べます。

リーマンショックから6年近くなりましたが、金型業界は、直後の打撃より立ち上げられず、専門の生産額はリーマンショック前年の66%~70%と低迷を続けておりました。しかし、消費税の駆け込み需要もあつてか、今年3月の機械統計では各型とも好調で、低調だったプラスチック金型も2009年以降最高額となっています。鍛造用金型は2008年の2倍です。アベノミクスの好影響でセットメーカーが好決算を出しておられ、セットメーカーの開発費ともいうべき国内金型投資を増大されることを期待します。

本年、経済産業省作成の「新素材産業ビジョン」に続き、当工業会も「新金型産業ビジョン」を発行いたしました。若手会より7名の委員参加を得、また、金型業界にエールを送っていただいている大学教授初め識者7名の方から寄稿をいただきました。

小規模企業が対応できることをモットーに、下記のキーワード

- ① 営業力（提案力）
- ② 海外展開
- ③ 金型技術を活かした周辺分野への事業展開
- ④ 人材確保・人材育成
- ⑤ 技術研究開発
- ⑥ サプライチェーンを有効なものとするための連携・提携の推進

に基づき、まとめております。

金型企業の経営のご参考になればと思います。また、金型を使って頂いているお客様等、関係する産業界の皆様にも読んで頂き、金型産業の今後取組みについてご理解頂けることも望みます。

新時代のものづくりにもかかせない金型産業ですが、日本金型工業会へ更なる御支援、御協力をお願い申し上げます。

平成26年6月6日

一般社団法人 日本金型工業会
会長 牧野俊清